

「こわかった!」「ほくは平気!」

新1年生がベア・マウンテンを見学

4月27日、サホロリゾート「ベア・マウンテン」が、町内の新1年生39人(新得小学校25人、屈足南小学校12人、



富村牛小学校2人)を無料招待し、見学会を行いました。この取り組みは授業の一環として、動物と自然を守る考えを子どもの頃から培ってほしいという目的で毎年実施しているもので、今回で6回目となりました。

子どもたちはバスで15分(東京ドーム約3個分)の園内を1周して、10才~29才のヒグマ13頭を見学しました。大きいもので300キロを超えるヒグマが餌を食べたり水浴びをする姿にくぎ付けになり、ガラス越しにヒグマが見られるベアポイントでは、わずか数十センチ先にいるヒグマを夢中になって見ていました。佐藤開士(かいと)くん(新得小学校)は「近くで熊が見れて楽しかった。また来てみたい」と話してくれました。

話題のアルバム

新得町に18人の新戦力

新しく社会人になるみなさんを歓迎する集い



新社会人を代表して、役場の齋藤誠一郎さんが「一日も早く社会人としての力を養い、皆さんに喜ばれる仕事をしていきたいです」と力強く決意表明しました。

「新しく社会人になるみなさんを歓迎する集い(18回目)」(実行委員会主催)が4月12日、町公民館で開かれ、この春から町内の7事業所で社会人としての第一歩を踏み出した18人が、歓迎と激励を受けました。

石畑政俊実行委員長が「自分の選択が間違っていなかったと思えるよう、活躍してくれることを願っています」とあいさつ。浜田正利町長が『目的』と『目標』を整理し、それぞれのお客様のために頑張ってください」と激励し、新社会人一人ひとりが自己紹介として、学生時代頑張ってきたことやこれからの抱負などを緊張した面持ちで初たく述べました。

まらの出来事をピックアップ

みんなで楽しく過ごして脳の若返り

脳いきいき教室「わすれん塾」がスタート

外出することが少なく家に閉じこもりがちな方や物忘れの多い方を対象とした、脳いきいき教室「わすれん塾」が4月25日、保健福祉センター「なごみ」で始まりました(来年3月まで、毎週水曜日、全35回)。

今年の申し込みは定員の40人に達し、初日となったこの日は、軽い体操や歌を歌ったりして脳の若返りを図りました。複雑な動きを混ぜた体操では、時折四苦八苦しながらも楽しそうに頭で考え体を動かし、充実した時間を過ごしていました。

今後は、町内の桜の観賞や、幼稚園などでの子どもたちとの交流、三味線など、様々な内容が予定されています。



もっと本のある生活を楽しんで!

図書館クイズ大会

「こどもの読書週間」(4月23日~5月12日)に合わせて毎年開催している図書館クイズ大会が4月20日、町図書館で開かれ、子どもたちがクイズを通して本の調べ方や図書館の利用方法などを学びました。

学校の授業を終えた50人の子どもたちが参加し、絵本の中の問題や「日本が初めて参加したオリンピックが開催された国と町の名前は?」など、10題の難問に挑戦。子どもたちは、館内の絵本や百科事典を探し出して答えを見つけ、回答していました。

全問正解者には、賞状と景品が贈られました。



私たちが交通安全のお手本となります

新得交通少年団 入退団式

新得交通少年団(北村有結末団長)の入退団式が、4月25日に町公民館で開かれました。

式には、中学生となって退団する5人と小学校4年生となり新たに加入した9人を含め23人が出席しました。

同交通少年団運営委員会の小野昭会長と来賓3人があいさつした後、退団者に記念品が贈られ、退団者を代表して中村太一くんが「屈足交通少年団の友達も出来て、楽しい3年間でした。これからも少年団で学んだことを忘れず、常に交通ルールを守るよう心がけていきます」とあいさつ。新入団員には団員証が授与され、同少年団は今年も各種行事を通じて交通安全活動を実施します。

心機一転「農業の道」へ第一歩

第17期生レディースファームスクール入校式

レディースファームスクール第17期入校式が4月6日同校で行われ、全国から集まった9人がそれぞれ酪農、肉牛、畑作部門により新生活のスタートを切りました。

入校式には、受け入れ農家など関係者約30人が出席。浜田町長が「スクールは受け入れ農家をはじめ人と人とのつながりで成り立っている。感謝の気持ちを忘れずに頑張ってください」と激励。研修生を代表して、東京都出身の松村あゆみさんが「送り出してくれた家族や友人の期待に応えられるよう早く作業に慣れ、地域に溶け込めるよう頑張りたい」と意気込みを述べました。

